

国際化プログラムのご紹介



国際化へ一歩踏み出してみよう

学習院大学経済学部長 神戸 伸輔

学習院と国際化

学習院というと、国際化とは縁遠いというイメージを持っている人も多いと思います。ところが、学習院は創立のころから、国際化を重視してきています。もともと学習院が作られたのは、幕末に黒船がやってきたことに対応して、諸外国と対等に渡り合える若者を育成するためでした。そこで、学習院では、日本の文化と西欧の文明とを共に教えることが行われてきており、その伝統は今に続いています。

学習院大学における外国語教育と留学の機会

実際、学習院大学では、外国語教育・留学などに様々な手段が用意され、希望する学生には機会が広く開かれています。たとえば、外国語学習については、外国語教育研究センターで提供される科目に加えて、自習のための教材も提供されています。留学については、国際センターを中心に交換留学の機会や奨学金が用意されています。経済学部では、独自に「英語専門科目」、「英会話学校の短期集中プログラム」、「TOEIC IP 受験支援」、「海外短期英語研修奨学金」などを用意しています。

外国語を学ぶ意義

外国語を学ぶことが以前より増して重要になっているのは、(1)アジア経済の発展と(2)外国人の流入の2つが今の日本で起こっているからです。戦後の日本は、輸出で発展しました。そこでは、輸出にかかわる一部の人だけが外国と対応することができれば、経済がうまく回っていました。ところが、アジア経済の発展に伴い、日本の企業は工場をアジア各地に展開し、多くのビジネスを現地で行うようになっていきます。また、ビジネスや観光で日本を訪れる外国人も急増しました。この数年はコロナのため訪日外国人は減っていましたが、コロナも収まってきましたので、数年のうちに元の水準を超えて増えていくと考えられます。

留学することの意味

短期でもよいので外国に住むことは、視野を広げるうえでとても有益です。同じ国にずっと住んでいると、一定のやり方が当たり前だと考えるようになります。世の中のやり方がそれだけしかないと思うと、新しいアイデアが生まれにくくなります。日本の常識が通じないところで生活すると、こういうやり方もあるのかということに気づかされます。そうすると、少し頭が柔らかくなり、ほかのやり方もあるのではと考えられるようになります。

一歩踏み出してみよう

上でも説明したように、やる気さえあれば、学習院大学ではいくらかでも国際化の機会があります。せっかくの機会ですので、今までの日常から離れ、国際化へ一歩踏み出してほしいと思います。

外国語習得のための取り組み 概要：

- 1 外国語で行われる専門授業の設置
- 2 英語集中プログラム
- 3 英語イブニングプログラム
- 4 TOEIC 支援プログラム
- 5 ゼミ海外研修宿泊補助制度
- 6 海外短期英語研修奨学金制度





学習院大学経済学部では、外国語の習得のため、以下のプログラムを設けております。

(1) 外国語で行われる専門授業の設置

経済学部では、選択必修科目として外国語で講義を行う専門的な科目を設置しています。

…掲載ページ p.3

(2) 英語集中プログラム

国内で著名な複数の英会話学校（ベルリッツ、ブリティッシュ・カウンシル）に委託し、夏季休業・春季休業の期間、大学キャンパスにて英会話の講座を開催しています。

…掲載ページ p.4

(3) 英語イブニングプログラム

国内で著名な複数の英会話学校（ベルリッツ、ブリティッシュ・カウンシル）に委託し、週1回 大学キャンパスにて英会話の講座を開催しています。

…掲載ページ p.5

(4) TOEIC 支援プログラム

TOEIC IPのオンライン試験を年2回実施しています。また、TOEIC 公式eラーニングの受講も支援しています。

…掲載ページ p.6

(5) ゼミ海外研修合宿補助制度

ゼミ海外研修合宿の費用を学部より一部補助することで、学生の負担を軽減しています。

…掲載ページ p.7-10

(6) 海外短期英語研修奨学金制度

夏季休業を利用し、海外大学付属またはそれに準じる語学学校の英語語学研修に参加した学生に、奨学金を支給する制度です。

…掲載ページ p.11



経済学部の国際交流プログラムの詳細は、学部HPにも掲載しておりますので、QRコードを読み取ってご覧ください。また、各プログラムの案内は、随時東2号館の掲示板やG-Portにてお知らせいたします。

(1) 外国語で行われる専門授業の設置

経済学科・経営学科ともに外国語専門科目を選択必修科目として設置しております。

国際化時代に対応して「英語で学ぶ経済学」では、実際に国際社会で働いた経験があるネイティブ講師などが、英語で授業を行い、少人数クラスで様々な経済経営問題を議論します。

さらに、「外国書講読」では、外国語で書かれた教科書や論文を通して経済学・経営学を学び、専門性の高い外国語読解能力を身につけることができます。

これらの科目はその重要性から両学科において選択必修科目として位置づけられています。

【参考】2024年度 経済学部共通 開講科目・担当一覧

- | | |
|-------------------------|--------------|
| ・英語で学ぶビジネス事情（シリコンバレー思考） | D. リティシェフ 教授 |
| ・英語で学ぶ経済学（マクロ経済学入門） | K. ジョンストン 講師 |
| ・英語で学ぶ経済学（ミクロ経済学入門） | K. ジョンストン 講師 |

【参考】2024年度 外国書を用いた授業

- | | |
|-----------------------------|--------------|
| ・外国書講読（計量経済学入門） | 赤司 健太郎 教授 |
| ・外国書講読（現代経済のイデオロギー） | D. リティシェフ 教授 |
| ・外国書講読（イノベーションとアントレプレナーシップ） | 西村 淳一 教授 |
| ・外国書講読（コミュニティをつくる経済思想） | 眞嶋 史叙 教授 |

※外国語で行われる講義も含みます。詳細は各シラバスをご確認ください。

経済・経営に関する時事問題などについて外国語で学べるため、就職活動等にも役立ちます。



(2) 英語集中プログラム

著名な英会話学校（ベルリッツ、ブリティッシュ・カウンシル）に委託し、夏季・春季休業期間に、キャンパスにて英会話の集中講座を実施しています。

期 間：5時間×4日間 計20時間

場 所：大学キャンパス内の教室

費 用：3,000円

クラス：中級クラスのみ、定員15名の少人数制、講師は全員ネイティブです。

対 象：全学部生および院生

	ベルリッツ	ブリティッシュ・カウンシル
学習内容	ベルリッツが大学生向けに開発したオリジナル教材『Berlitz English for University Students』を使用しながら、具体的で実践的なスピーキング演習を行うことによって、英語コミュニケーションスキルの基盤を確立します。加えて、ご要望の多いビジネス英語パートも盛り込み、就職後にすぐ使える表現をリアルなロールプレイを交えてシミュレーションします。	English for International Communication 日常英会話に加えてディスカッションにも取り組み、アカデミックな内容を英語で議論できるようになることを目指します。興味深いトピックス（例：大学入試、オリンピック、SNSなど）を取り上げ、データの説明の仕方、意見の述べ方、比較などディスカッションに欠かせないスキルを学べるよう練習を重ねます。
学習形態	外国人教師によるオールイングリッシュのレッスンで、英語で考えてアウトプットを行うトレーニングを行います。レッスンはスピーキングとリスニングを中心とした演習形式で、ロールプレイやグループワーク、ペアアクティビティによって、受講生が実際に「話す」時間を最大限確保します。単語だけではなく、会話はフルセンテンスで詳しく話すことを徹底し、文法や必要な表現は会話の中で自然に身につけます。	レッスンではコミュニケーションを重視し、ペアやグループワークなど少人数でのアクティビティをたくさん行います。「Learning through doing」「実際にやってみて学ぶ手法」を用いるため、受講者はアクティビティを通して、より高い実践的なスキルを身につけることができます。
到達目標	大学生活において日常的に発生する様々なシチュエーションでのコミュニケーションを、自信を持ってできるようになることを目指します。また、就職前の準備としてビジネス英会話の基礎を身につけます。	コミュニケーションスキルを向上させ、自分の意見や考えを英語で表現できるようになることを目標とします。また、ネイティブスピーカーである外国人講師によるレッスンを通して、間違いを恐れることなく、積極的に英語を話すスキルも習得します。
英語推奨レベル	TOEIC405～600程度、英検準2級から2級	TOEIC550～、IELTS4.0～、英検2級以上

・受講者の感想

ベルリッツ

「内容が今後の人生でいつか使えるフレーズだったので、身近に感じられた。また、少人数クラスのため、たくさん話すことができた。」

「かなり長時間英語漬けで、ものすごく疲れたが、その分達成感が大きかった。まだ海外留学する予定はないが、今回のプログラムを通して、ぜひ行ってみたいという気持ちが強くなった。また、リスニング力が強化されたため、TOEICの対策にもなったと感じる。」

ブリティッシュ・カウンシル

「少人数で、多くのディスカッションができたので、英語をたくさん話すことができた。」

「スピーキング力の向上に最適だった。易しい難易度ではなかったが、先生の説明も非常に分かりやすく、少人数であるため質問や発言がしやすい雰囲気だった。」

(3) 英語イブニングプログラム

著名な英会話学校(ベルリッツ、ブリティッシュ・カウンシル)に委託し、週に1回、キャンパスにて英会話講座を実施しています。

期 間：1 時間 30 分×8 回 計 12 時間

場 所：大学キャンパス内の教室

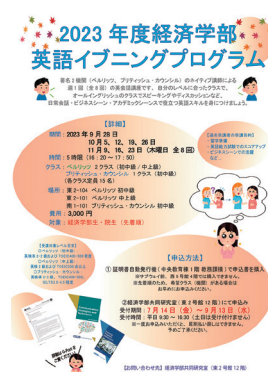
費用：3,000 円

クラス: 初中級クラス・中上級クラス、定員15名の少人数制、講師は全員ネイティブです。

対 象：経済学部生および院生

	ベルリッツ	ブリティッシュ・カウンスル
学習内容	(初中級) 英会話初心者の方が安心して学習できる会話中心のレッスンです。英語コミュニケーションスキルの基盤を確立し、同時に自信を持って対応できるようになるテクニックを体得します。 (中上級) ビジネス会話を中心に、英語でのプレゼンテーションやディスカッションなどの個別スキルも体系的に習得します。	(初中級) 日常生活の中で自信をもって英語を使うことが出来るよう、英語教授資格をもつ英語教育のエキスパートである講師が、あなたの力を最大限に引き出し、英語力を伸ばすお手伝いをします。レッスンでは、スピーキング、ライティング、リーディング、リスニングの4つのスキルをカバーしています。身近に関連するトピックに沿って新しい語彙やフレーズを学び、発音や文法を習得し、正確性を高めていきます。
学習形態	(初中級) 留学などで使える日常会話を学びます。積極的に話すスキルを身につけ、効果的なコミュニケーションができるようになることを目指します。 (中上級) 様々なビジネスシーンや面接などで使える英語力を身につけます。	(初中級) 積極的に英語が話せるようになるために、レッスンには日常生活で起こりうる様々な場面を想定した内容が組み込まれています。英語のスキルを向上させ、自分の感情や意見を表現する方法を学び、よりスムーズにコミュニケーションが取れるようになることを目指します。
到達目標	外国人教師によるオールイングリッシュのレッスンで、英語で考えてアウトプットを行うトレーニングを行います。レッスンはスピーキングとリスニングを中心とした演習形式で、ロールプレイやグループワーク、ペアアクティビティによって、受講生が実際に「話す」時間を最大限確保します。単語だけではなく、会話はフルセンテンスで詳しく話すことを徹底し、文法や必要な表現は会話の中で自然に身につけます。	受講生主体の双方向型のレッスン形式で、学習した語彙やフレーズを使うようにするため、ペアやグループワークを通して練習する時間を最大限に設けています。たくさんのスピーキングの練習を重ねることで、実践的な英語力を身につけることができます。
英語推奨レベル	(初中級) TOEIC400 ～ 500、英検準2級から2級程度 (中上級) TOEIC550、英検2級以上	(初中級) TOEIC400 ～ 500、IELTS3.5 ～ 4.5、英検準2級から2級程度

【告知ポスター】





(4) TOEIC 支援プログラム

TOEIC IP 受験支援プログラムおよびTOEIC 公式eラーニング受講支援プログラムを実施しています。

TOEIC IP 受験支援プログラム

経済学部では、経済学部生・院生を対象にTOEIC IP 受験を実施しています。この試験は年2回(6月と11月)オンライン形式で行われ、評価がフィードバックされます。

通常、TOEIC IPの受験料は3,130円(税込・賛助価格)ですが、経済学部が一部支援するため、学生は1,000円で受験することができます。是非この機会を利用して、TOEICのテスト形式に慣れ、今後の英語学習に役立てることをお勧めします。

TOEIC IPテストとは？

企業・学校・団体等の要請に応じて、随時受験できる団体特別受験制度(Institutional Program)です。「TOEIC IPのスコア」として履歴書等に記載することができます。

※企業や大学によっては、TOEIC公開テストで得られる公式認定証のみが有効とされる場合があります。

TOEIC IPを受験した学生の感想

「安い価格でTOEIC試験の練習が出来て良い。」

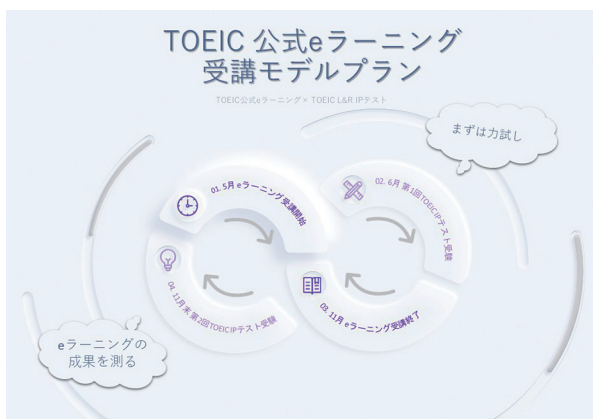
「受験料1,000円という手軽さにとても助けられた。」

「継続的に受験すると良いペースメーカーになる。」

「自主的に英語を勉強するきっかけになった。」

TOEIC 公式eラーニング受講支援プログラム

ETS (TOEICテスト開発機関) が本番のテスト制作と同じプロセスで作った良質な問題で、ビジネスや日常の場面に直結した、実践的な英語力を磨くことができます。通常の受講料は30,800円(税込・賛助価格)ですが、経済学部が一部支援するため、学生は8,000円で受講することができます。TOEIC IP テストやTOEIC 公開テストに向けて受講することをお勧めします。



(5) ゼミ海外研修合宿補助制度

海外で行われるゼミ研修合宿の費用を、経済学部が一部補助することで学生の負担を軽減しています。例年、この制度を利用して、多くのゼミが海外で合宿を行っています。

※ゼミ国内研修合宿にも学生向けに補助金が支給されます。

・経済学部ゼミ海外研修合宿 実績(2018年度～2023年度12月時点)

2023年度(2023年12月時点)

ゼミ名	実施国・地域	実施期間
経営学科 竹内ゼミ	台湾	2023年10月12日～10月14日(3日間)
経済学科 眞嶋ゼミ	マレーシア(ボルネオ研修)	2023年8月21日～9月7日(18日間)
経営学科 米山ゼミ	台湾	2023年12月15日～12月18日(4日間)

2019年度

ゼミ名	実施国・地域	実施期間
経済学科 石井ゼミ	台湾	2019年9月3日～9月5日(3日間)
経済学科 神戸ゼミ	台湾	2020年2月1日～2月3日(3日間)
経済学科 鈴木ゼミ	台湾	2019年12月25日～28日(4日間)
経済学科 高橋ゼミ	韓国	2019年11月16日～18日(3日間)
経済学科 細野ゼミ	台湾	2019年11月22日～24日(3日間)
経済学科 棕ゼミ	台湾	2019年9月8日～9月10日(3日間)
経済学科 棕ゼミ	オーストリア・スロバキア	2020年1月31日～2月4日(5日間)
経営学科 米山ゼミ	グアム	2020年3月13日～3月16日(4日間)
経済学科 脇坂ゼミ	韓国	2019年11月29日～12月1日(3日間)
経営学科 渡邊ゼミ	中国	2019年9月1日～9月5日(5日間)

2018年度

ゼミ名	実施国・地域	実施期間
経済学科 石井ゼミ	韓国	2018年9月3日～9月5日(3日間)
経済学科 神戸ゼミ	タイ	2019年2月27日～3月2日(4日間)
経済学科 清水順子ゼミ	香港・マカオ	2019年2月20日～2月22日(3日間)
経済学科 清水大昌ゼミ	ベトナム	2019年2月24日～3月1日(6日間)
経済学科 孫ゼミ	韓国	2018年10月24日～10月28日(5日間)
経済学科 高橋ゼミ	ベトナム	2018年8月23日～8月29日(7日間)
経済学科 宮川ゼミ	台湾	2018年8月19日～8月21日(3日間)
経済学科 棕ゼミ	香港・マカオ	2019年2月25日～2月28日(4日間)
経済学科 脇坂ゼミ	台湾	2018年12月14日～12月16日(3日間)
経営学科 本川ゼミ	ニューカレドニア	2018年12月5日～12月10日(6日間)
経営学科 米山ゼミ	台湾	2018年12月13日～12月18日(6日間)
経営学科 渡邊ゼミ	中国	2018年8月7日～8月12日(6日間)



・ゼミ海外研修合宿内容

【参考】2023年度 経営学科 米山ゼミ

実施国	台湾（台北）
実施期間	2023年12月15日～18日（4日間）
参加学生	4年生6名、3年生19名、2年生3名
目的	台湾・元智大学との合同セミナーへの参加
内容	Sustainable & Innovationという統一テーマの下、台湾及び日本の学生（日本からは学習院のほか慶應の学生も参加）からなるグループで、リサイクル及びアップサイクルに取り組む企業事例を整理し、そこから得られた知見に基づいて台湾のコスメティック企業であるO'right社の経営陣への戦略提案を行った（グループ討議、発表および質疑応答はすべて英語で行われた）。また、最終日には同社を訪問し、実際の取り組みに関する説明を受けた。
成果	6つのグループ別に討議の結果を取りまとめて発表し、O'right社の経営陣及び3大学の教授陣からの評価に基づき最優秀発表賞等が決定された。最優秀発表賞には、学習院の3名の学生も含まれた。なお、この発表会等の様子は、台湾の新聞「経済日報」に掲載された。また、懇親会を通じて日台学生同士の交流を深めることができた。 (台湾の新聞「経済日報」記事はQRコードより閲覧できます。)



【参考】2019年度 経済学科 石井ゼミ

実 施 国	台湾（台北）
実施期間	2019年9月3日～5日（3日間）
参加学生	4年生0名、3年生10名、2年生0名
目 的	台湾の歴史と経済を学ぶ
内 容	主に現地の博物館、著名な史跡を訪れて歴史を学ぶ。また、現地の市場の実態を体感する。
成 果	中国との微妙な関係や日本企業の進出状況、台湾におけるインフラ整備や市場経済活動などについて、多様な知見を得て、学生がそれぞれレポートにまとめた。



【参考】2019年度 経済学科 細野ゼミ

実 施 国	台湾
実施期間	2019年11月22日～24日（3日間）
参加学生	4年生0名、3年生7名、2年生0名
目 的	インゼミでの発表の準備を行うとともに、台湾の物価・経済動向について、現地調査を行う。
内 容	各グループに分かれて、インゼミの発表のリハーサルを行った。 また、台北市や郊外の小売店舗において、価格調査等を行った。
成 果	インゼミについては、リハーサルで修正を行った結果、翌週の本番ではうまく報告することができた。価格調査では、商品による価格差の違いの大きさに気づき、為替レートや貿易を考えるきっかけとなった。





【参考】2019年度 経済学科 棕ゼミ

実施国	台湾（台北）
実施期間	2019年9月8日～9月10日（3日間）
参加学生	4年生0名、3年生18名、2年生0名
目的	サービス産業を中心とした現地調査と研究者との交流
内容	外食やコンビニ、交通などのサービス業についての日本との価格差の実態を調査すると同時に、セミナールームでの報告会を行い、国立中央大学のChih-Hai Yang教授と会合した。
成果	現地調査とYang教授からのアドバイスに基づき、ゼミ論文を執筆し、大規模な論文報告大会や他大学とのインターゼミにて報告した。



【参考】2019年度 経済学科 棕ゼミ

実施国	オーストリア・スロバキア
実施期間	2020年1月31日～2020年2月4日（5日間）
参加学生	4年生5名、3年生0名、2年生0名
目的	文化財産業とサービス産業に関する現地調査
内容	西欧と中欧の境目にある2か国を訪問し、機械・金属加工・観光・ガラス細工などが経済の中心のオーストリアと、外資系自動車会社が現地法人を設立し、自動車や鉱業が中心のスロバキアを訪問し、その違いを調査する。
成果	オーストリアの首都であるウィーンと、スロバキアの首都のブラチスラヴァをそれぞれ訪問し、どちらも国連施設があるといった共通点、および美術や音楽を中心とする国際都市の前者と、歴史的施設や教会を中心とする後者の違いを体感することができた。



(6) 海外短期英語研修奨学金制度

経済学部生・院生を対象とした奨学金制度です。夏季休業を利用して、海外大学付属またはそれに準じる語学学校の英語語学研修に参加し、有意義な成果を収めた学生に、奨学金を支給しています。

【参考】2023年度 海外短期英語研修奨学金 募集要項

1. 趣旨

学習院大学経済学部では、夏季休業中に海外で英語語学研修を行い、有意義な成果を収めた学生を経済的に支援するため、海外短期英語研修奨学金を支給する。

2. 応募資格

- ①本学経済学部又は大学院経済学研究科又は経営学研究科の正規の課程に在籍する者。
(科目等履修生、委託生、研究生、協定留学生を除く)
- ②夏季休業を利用して、海外の大学付属またはそれに準じる語学学校で、少なくとも、正味10日以上の英語語学研修に参加した者。期間内の学校休日等は含まない。
- ③過去に本学内外で奨学金を得ていた場合においても、申請可能である。但し、同一研修に対して、本学内外の奨学金を受給した場合は、本学内外の奨学金の受給規定に従う。
- ④応募人数が多い場合、成績などを考慮し、採用者を決定する。

※語学研修の開講期間は、学年暦に定める夏季休業期間であること。原則として、第2学期授業日および第1学期期末試験期間などが、語学研修期間及びそのための海外渡航期間に重なっている場合、申請を認めない。但し、語学研修のための海外渡航期間中に、履修している科目が無いことを証明する書類(時間割など)を提出した場合には、この申請を許可する。

※語学研修先は自分の国籍国以外であること。但し、経済学部長が認めたものは除く。

3. 支給内容

- ①採用予定人数：最大20名程
- ②奨学金額：1人当たり10万円を支給

【参考】2019年度～2023年度 支給者の研修先

アイルランド、アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリア、フィリピン

※2020・2021年度は実施を見送りました。

【告知ポスター】



